



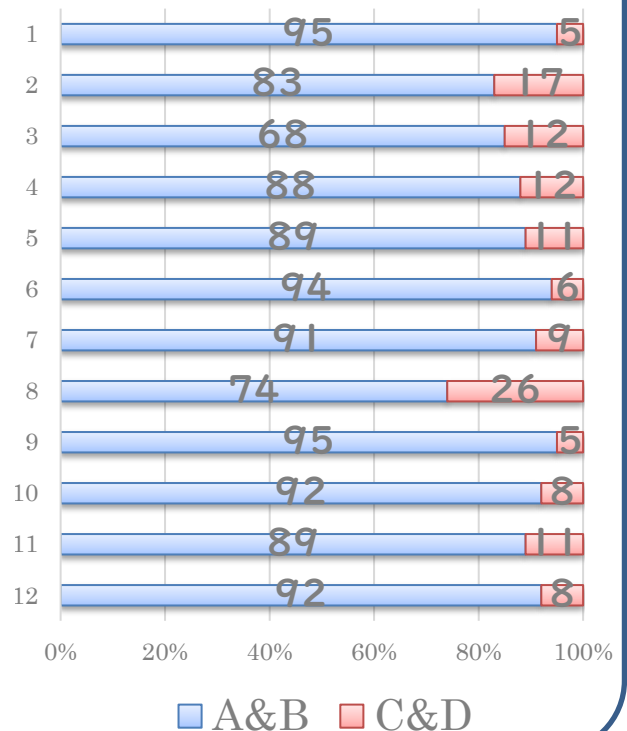
## ◇学校アンケート(児童・保護者)の結果から

2学期に実施しました「保護者アンケート」にご協力いただきありがとうございます。  
「児童アンケート」とともに結果を報告させていただきます。

### 《児童アンケート》

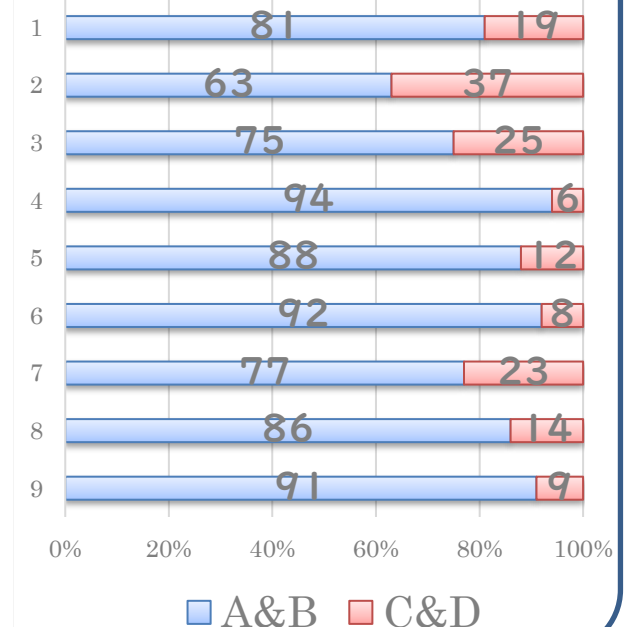
A:そのとおり B:だいたいそう C:ほとんどそうではない D:そうではない

- ① わからないことや考えを聞き合いながら、学習に参加できていますか。
- ② 学年×10分を目安に、家庭学習ができていますか。
- ③ 空いた時間を見つけて、進んで本を読んでいますか。
- ④ 1～3年:自分から気持ちのよいあいさつ  
4～6年:時と場に応じたあいさつ ができていますか。
- ⑤ 「さ・し・す・せ・そ」清掃を守れていますか。
- ⑥ 相手の気持ちを考えた話し方や行動ができていますか。
- ⑦ 自分のことを大切にだと思いますか。
- ⑧ 休み時間に進んで運動していますか。
- ⑨ 朝ご飯を毎日食べていますか。
- ⑩ 1日に2回以上の歯磨きをしていますか。
- ⑪ 給食では、  
1～3年:自分が決めた量を  
4～6年:配膳された分量を 残さずに食べていますか。
- ⑫ 学校は楽しいですか。



### 《保護者アンケート》A:そのとおり B:だいたいそう C:ほとんどそうではない D:そうではない

- ① お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。
- ② 学年×10分を目安とした家庭学習が習慣化していますか。
- ③ ご家庭や地域などで、お子さんはあいさつをしますか。
- ④ お子さんは、友だちを大切に、思いやる言動ができていると思いますか。
- ⑤ 学校は、一人ひとりの違いを受け止めて、子どもの理解・支援を適切に行っていますか。
- ⑥ 学校は、安全指導や訓練等を行うことにより、安全に対する意識を高めていますか。
- ⑦ お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き等の生活習慣が身についていると思いますか。
- ⑧ 学校は、教育活動の様子や情報を分かりやすく伝えていていると思いますか。
- ⑨ 全体的に見て学校の教育活動に満足していますか。



## 【学習・授業内容理解・学習習慣】児童①・②、保護者①・②

学校では、授業において「わからないこと（問い）」が大切にされ、それぞれの考えを「聴き合う」ことに重点を置いて取り組んでいます。児童①の質問では、どの学年でも95%の肯定的回答となっているだけでなくA評価が最も多いことから、学校文化として定着しているものと考えます。今後も、どの子にとっても学びが深まるよう、学習課題や問題解決型の学習過程を工夫していきます。

また、「学年×10分」を目安とした家庭学習では、3年生を境にA評価が少なくなり、C評価が増える傾向にあります。そして、5年生になるとB評価が最も多くなり、学習習慣の定着に個人差が見られるようになります。「学びに向かう力」は、将来を担う子どもたちにぜひ身に付けてほしい資質です。家庭学習の内容や方法について、今後も検討していきます。



## 【読書活動】児童③

全国学力・学習状況調査（6年生実施）では、全国・県・市の平均よりも高水準で「読書が好き」と答えた子どもたちも「進んで～」と問われると、特に高学年においてCD評価が多くなる傾向がはつきりしています。読書によって「感性が磨かれる・判断力や表現力が伸びる・コミュニケーション能力の基礎が築かれる」等の効果が期待できることから、来年度も継続して「子どもと本をつなぐ」取組を進め、発達段階に応じた読書習慣を身につけることを目指します。



## 【あいさつ・清掃活動】児童④⑤、保護者③

「あいさつ」も「さしすせそ清掃」も、キャリア教育の一環として継続的に取り組んでいる活動です。いずれも、児童の自己評価と保護者・職員の見立てとの間に少しのズレを感じます。社会に出たときに必要となる基本的な生活習慣やマナーを身に付けていけるよう、今後も引き続き取組を進めます。



## 【自己肯定感・人権教育】児童⑥⑦、保護者④⑤

児童⑥⑦の質問で、いずれも90%を超える肯定的回答が多かったことは、授業や特別活動・学校行事で「場」を与え認め合う活動を取り入れたり、「ピンクシャツ運動」等のいじめ防止の意識づけに取り組んだりしたことが効果的だったと考えます。

しかし、高学年になるにつれB評価が増える傾向にあることから、来年度も、子ども一人ひとりの深い理解を基盤に、子ども同士をつなぎ、認め合うような取組を進めていきます。

## 【健康・安全】児童⑧⑨⑩⑪、保護者⑥⑦

休み時間にタブレットを使う児童が増えたため、20分休みはタブレットの使用を控え、外遊びを推奨しました。1学期より肯定的評価は増えてきましたが、80%を下回っているため、体育の授業内容を工夫したり担任が子どもたちとともに運動場で体を動かしたりして、今後も日常的な体力づくりを進めます。

また、家庭でのタブレット使用のルールを決めたり食育指導の充実を図ったりして、基本的な生活習慣に関する意識を高めていきます。



## 【学校生活全般】児童⑫、保護者⑧⑨

「学校は楽しいですか」の問いかけにCD評価の子どもが8%もいることに真摯に向き合い、保護者の方に満足していただけるよう、改善活動に取り組めます。